



平成24年11月10日

ひょうごボランティアスクエア21開催 会場 木口記念会館・芦屋市保健福祉センター

今回で第2回目となる「ひょうごボランティアスクエア21」を芦屋市との共催で、開催しました。当日は障害者団体による模擬店、助成金に関する相談、車両助成団体のステージ発表、元氣アップアワードのパネルやステージ発表による公開審査会、そして特別企画としてミニコンサートを開催し、約500名の方々に参加していただきました。

今回は、各催し事について紹介させていただきます。

■元氣アップ屋台村■

今年も大盛況に終わりました元氣アップ屋台村。おでんにカレー、焼き菓子やフランクフルト、ポップコーンにソフトクリーム等の飲食物や、かわいい観葉植物に野菜販売、さをり織りや射的といったたくさんのお店があり会場はすごく賑わっていました。この屋台村の製品には「こんなに良い物がこの値段

で！」と驚きが隠せません。今年参加することができなかった方も是非、来年は参加して、驚いて頂きたいと思います。



■助成金よろず相談会■

当財団を含む、助成活動を行っている6団体が、それぞれブースを設けて助成金に関する相談会や展示などを行いました。相談に来られた各々も多種多様な助成金に関する悩み事などを相談され、さまざまな団体と関わりをもつことができました。

■ミニコンサート■

今年初めて開催したミニコンサート。手話で歌を伝える「手話歌グループあしや」さんと、日常にあるものを楽器に変身させてしまう「春待ちファミリーBAND」さんに出演していただきました。楽しく一緒に歌を唄い、また踊ったりして、参加された皆さんと一体となり、全員が笑顔で楽しまれている姿を見ると、開催してよかったと実感しています。



■車両助成プログラム ステージ発表■

当財団が行っている、車両助成に特化した助成枠に24年に応募された多数の団体から、助成が決定した10団体に、団体のPRと助成対象となる車両の使用内容などを発表して頂きました。

みなさん、パワーポイントやチラシなどをご用意頂き、素晴らしい発表をしていただけました。中には団体さんが現在使用している車両の写真にバンソウコウのイラストを貼って、「ポロポロなので車両が必要なんです。」といったユニークな発表をしてくれた団体さんもいらっしゃいました。これからどんどん車両を活用して頂き、色んな活動をされていく事を楽しみにしております。

■ボランティア・市民活動 元氣アップアワード■

この元氣アップアワードは「こっこっコース」と「元氣アップコース」があり、こっこっコースは、これまでの団体の活動などをパネル展示で公開し、来場者の投票により大賞を決定します。今年度は10団体に展示して頂きました。今回の投票数は合計で309票も投票を頂きました。

元氣アップ大賞
特定非営利活動法人しゃらく
「まさゆめProject」



こっこっ大賞
芦屋翠ホーム

元氣アップコースは、平成25年度に実施する新たな企画をプレゼンしてもらい、その後公開審査を行い、大賞を決定します。どの団体さんも素晴らしい企画を考え、発表して頂きましたが、今回大賞を受賞されたのは次の団体さんです。



被災地を訪れて・・・。

平成23年3月11日に突如襲った東日本大震災は、日本全土を震撼させました。私たちは、震災発生から3ヵ月後の6月に宮城県を訪問させていただきました。目の前には想像もしていなかった壊滅的な光景が広がり、津波の恐ろしさに言葉も出ませんでした。そして、財団として何かできる事はないかと考え、当時、被災地の障害者の方々に支援していた「日本障害者フォーラムみやぎ支援センター」のご協力で、宮城県内の5つの障害者支援する事業所に支援金をお渡しし、今年9月に助成財団としての今後の支援のあり方を見極めるために再度宮城県を訪れました。移動中の車から見ると、市街地中心部の交通などの公共インフラの復興は少しずつ進ん



るよう見えましたが、沿岸部の小さな町や村では、がれきが撤去されているものの、土台しか残っていない住居跡や崩れ落ちたままになっている橋などが見かけませんでした。このような現実を目の当たりにして、私たちは改めて、津波の恐ろしさと復興への長い道のりを痛感しました。訪問させていただいた団体さんからは、津波で失ったものや、高台に避難したときの様子などの被災時の状況や避難所での障害者の居場所の少なさ、薬の確保の大変さ、そしてこれからの進み方など沢山のお話を聞かせていくことができました。その中でも特に心に残ったのが、どの団体さんも自分の施設だけでなく、宮城県、東北として復興するという強い意志を感じました。実際に、音楽バンドを呼んで、地域の方と一緒に楽しんだり、地域にカフェを作ってみんなの憩いの場を作ろうと取り組んだり、頑張っていました。今回、宮城県を訪れてハッキリ分かった事は復興までにはまだまだ時間が必要で、今後も支援を積極的に継続しなくてはいけないと再認識しました。

第2回清掃団体交流会！

平成24年12月17日(月)に、日頃会館の清掃等でお世話になっている皆様とゆっくり交流する場を設けるため、今回で2回目となる清掃団体との交流会を行いました。清掃団体の皆様からも、「交流会はやらないの？」というお声を多く頂いていて、楽しみにしてもらえてるのが分かり、とても嬉しかったです。



当日は、清掃団体の皆様を中心に、40名余りの方にご参加いただきました。

連想ゲームもビンゴも大盛り上がりで、皆様楽しんでくれました。連想ゲームでは、私のグループは1ポイントしか取れず、ダントツの最下位でしたが：

ビンゴは、今年も是非やってほしいとの声を多くいただいております。大盛り上がりでした。ビンゴになった方、おめでとうございます。惜しくもビンゴにならなかった方は次回頑張りましょう！一羊会の皆様、企画・進行ありがとうございました。

日頃会館の清掃等でお世話になっている皆様ですが、普段はお互い業務中という事もあり、ゆっくりお話し出来ないのも、この様な会は新鮮で楽しかったです。皆様の笑顔を見て、開催して良かったと実感できました。



さて、交流会の内容ですが、昨年は当財団の方で企画・進行を行いました。今回からは清掃団体の方々に企画・進行をお願いしようという事になり、今回は一羊会のみなさんにゲームの企画をしていただき、ゲームとビンゴを行いました。

■財団からのお知らせ■

公益財団法人移行のお知らせ
この度木口ひょうご地域振興財団は、内閣府の認定を受け、平成25年2月1日付けで公益財団法人へと移行いたしました。

これを機に、今一度財団設立時の初心に立ち返り、地域福祉の振興に寄与するために力を尽くしてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■編集後記■

まだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。当会館では、嬉しい事に設立当初に比べ利用が格段に増えてきました。今後も皆様により一層使ってもらえるような会館にできる様努力していきますので、よろしくお願ひいたします。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

発行 公益財団法人

木口ひょうご地域振興財団

発行日 平成25年2月1日

お問い合わせ先

木口記念会館

芦屋市呉川町14番10号

TEL 0797-3515262

FAX 0797-3515261